

図書館だより

秋田大学附属図書館

附属図書館ホームページ

<http://www.lib.akita-u.ac.jp/>

菅江真澄の道を通って 19

駒ヶ岳（藤駒、1,157m）を望む。田代岱より頂上まで、1000m 弱のコースであるがきびしかった。真澄は秋田入りして後、森吉・栗駒・鳥海 …… など峻嶺を踏破したが、当時、人里はなれた山々を何を思いながら訪ねたのであろうか。

秋田大学名誉教授 山本彦彦氏 文・画

目次

巻頭言 附属図書館の改修に際して……………	大好 直 ……………	2
改修特集 図書館が生まれ変わります！……………		3
著書紹介 (5) ……………	石沢真貴／渡部育子 ……………	6
本学教員等著作寄贈図書……………		7
職場体験学習／書評を読んでリクエスト……………		8
太陽光パネル／図書修理講習会……………		9
シリーズ 心に残る一冊 (40) ……………	鈴木良地 ……………	10
データベース紹介……………		11
お知らせ／編集後記……………		12

附属図書館の改修に際して

附属図書館長 大好 直



冒頭ですが、現在、附属図書館は念願の大規模な改修に入っています。そのため、やむを得ず部分的なサービスでご不便をお掛け致しておりますが、しばらくご辛抱下さい。この改修が附属図書館の利便性の向上となり、延いては今後の大学の飛躍的な発展へ繋がるよう心より祈願しているところです。

さて、改修にちなんで図書館機能によるサービスの方法について述べてみたいと思います。図書館は常に利用者の意見を考慮してサービス向上に努めています。また同時に、専門家の視点に基づいた工夫によりサービス向上もしています。昨今は学術情報リポジトリ作成や検索を容易にするデータのデジタル化などのほか、ウェブ機能の活用により様々な面でも情報発信をしています。そして、知識基盤社会の中で図書館を最大限に活用して頂くためには、信頼の出来る質の高い情報を必要にして十分なだけ確保できる仕組みを、デジタル化によって早急に整えることであると考えています。現在、デジタルデータによる情報交換は、優れた方法であるために私達の生活の中にどんどん入り込んできており、携帯をはじめ様々な形で利用されています。したがって、多くの図書館利用者にとって、ほとんど抵抗なく情報リテラシーを心得られる環境となっていますので、その潮流に合わせて図書館情報を整えることが肝心です。デジタル情報は高密度ストレージ性や多機能高速検索性などの特長がありますので、従来から図

書館が抱えている課題を解決する手掛かりにもなります。徐々に整備すれば、今以上に質の高いサービスを提供する新しい附属図書館として生まれ変わることが出来るものと信じています。

この改修の際に意識を新たにしたい点があります。言うまでもなく図書館は大学附属であるという使命のもと地道に様々な役割を果たしていますが、全学的観点からは是非とも具体化すべきことがあります。それは教育研究の活動に不可欠な情報を取得して活用するための機能強化です。大学からの優秀な人材輩出や傑出した研究成果の誕生は、最新情報に触れる構成員の意識高揚によって初めて可能となるものです。限られた大学教育による知識獲得も尊重しなければなりません。常に新鮮な情報にふれて自己啓発できる大学の環境を尊重すべきです。そうでなければ指導者を超える人材の輩出は出来ません。具体的には外国文献データベースや電子ジャーナルの整備による機能強化こそ大学発展の鍵であると認識しています。経費削減が続く大変苦慮しているところですが皆様のご理解をお願い致します。

最後に改修に際して多方面から熱い応援やご協力を頂いており深く感謝申し上げます。附属図書館棟の耐震性向上のみならず希望通りの構想の下で着々と進行していますので格段に使いやすくなるはずです。改装オープンする日を楽しみにして下さい。

(おおよし ただし 工学資源学部機械工学科 教授)

図書館が生まれ変わります！



完成イメージ図（実際とは異なります。）

現在、附属図書館本館（手形キャンパス）では大規模改修工事が進められています。そのためみなさまには大変なご不便をおかけしておりますことをお詫びするとともに、ご理解、ご協力いただいておりますことに深く感謝いたします。

この紙面では、工事に伴うサービスの変更など当面の具体的な運用についてのご案内とともに、完成後、図書館がどう変わるかをご紹介します。どうか楽しみにお待ちください。

新しい図書館、どう変わる？

開架図書が1フロアに集まります！

これまでスペースの都合上、請求記号によって1Fと2Fに分かれて配置されていた開架図書が、2Fの閲覧フロアにまとめられます。分野によってそれぞれの階で資料を探さなければなりませんでした。これからは閲覧机からすぐに目当ての図書へたどり着けます。

調査、研究に便利です！

二次資料、統計資料、PCコーナーなど、調査に必要なツールを1F情報収集のためのエリアに集約することで機能性を高め、効率的に調査研究していただけます。

バリアフリーに配慮します！

介助なしには乗降できなかった狭いエレベーターも、広さを確保したものがフロア中央に新設されます。車椅子での通行が困難だった書架の間隔を広げ、書庫の自動ドア幅も広がります。

多機能な学びの場になります！

利用度の高かったグループ学習室がこれまでの2部屋から5部屋に増え、ほかに個室学習室や窓に面したカウンター席、また音響に配慮した部屋やプレゼン機能を備えた部屋などもあり、様々な自習形態のニーズに対応することで、みなさんの学習を支援します。

明るく、快適になります！

築38年の間に、狭隘化など必要に迫られ徐々にレイアウトを変化させていく中で、既存の照明位置ではエリアによって十分な照度が得られなかった点も解消されます。また夏暑く冬寒かった書庫はエアコンが設置され、人にも資料にも優しくなった環境で、ゆっくり文献をお探しいただけます。

書庫が使いやすくなります！

これまでの特別利用カードによる入室手続きが必要なくなります。開架式書庫として、どなたでも自由に入って見たい資料をご覧ください。

環境に配慮します！

照明器具にLEDや消費電力の少ないHf管を多用し、すでに導入済みのLED照明付閲覧机や太陽光パネル発電とともに、一層環境に配慮した施設となります。

他施設とつながります！

2F 渡り廊下で隣の学習支援総合センターとつながることで、総合情報処理センターなど他施設への移動が便利になります。悪天候でも足元を気にせず図書館へ来ていただけます。

第1期（8月23日～11月下旬） 利用案内

開館時間について

- 一般利用……平日 8:30～17:00（土・日・祝日は休館です。）
特別利用……休止（特別利用カードによる夜間、休日の入館はできません。）

施設について

- グループ学習室、視聴覚室、地図室、第1書庫および新館は利用できません。
- ・ 閲覧席……1階ブラウジング奥・2階・学習支援総合センター2階
 - ・ パソコン…2階 情報検索用（5台） 印刷はカウンターのプリンタに出力されます。
文書作成用（1台） 印刷用紙はご持参ください。
OPAC検索用（2台）
 - ・ コピー機…私費用・公費用とも1階
 - ・ トイレ……1階：男性用・多目的トイレ 2階：女性用

資料について

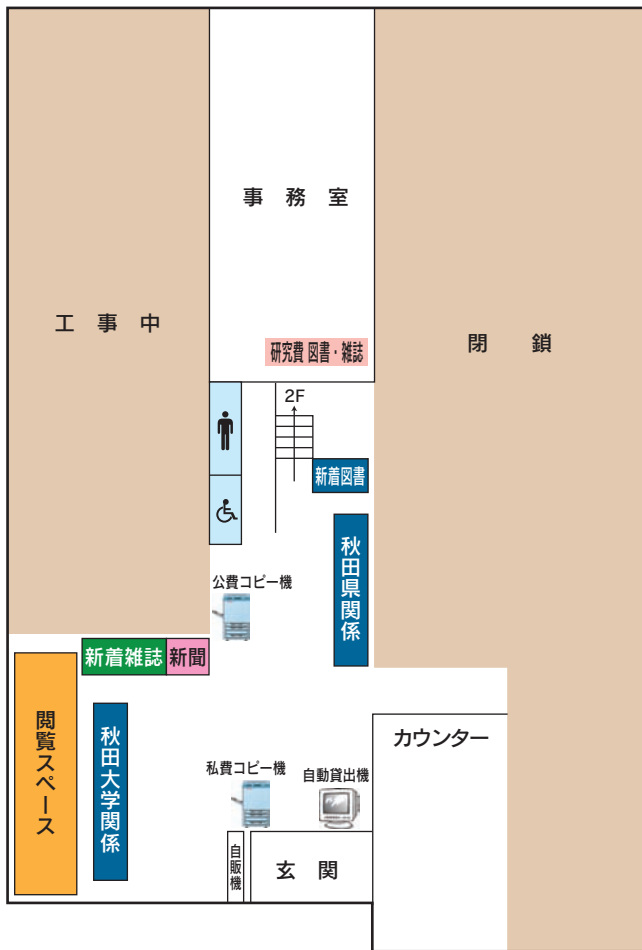
- 学術雑誌、視聴覚資料、新聞（バックナンバー）、書庫内図書は利用できません。
*OPACの所在に【工事中利用不能】と表示されます。

貸出・返却・レファレンス・学外文献依頼などのサービスは通常どおり行っております。
他大学等からの取り寄せを希望される場合は、マイライブラリから学外文献をご依頼ください。

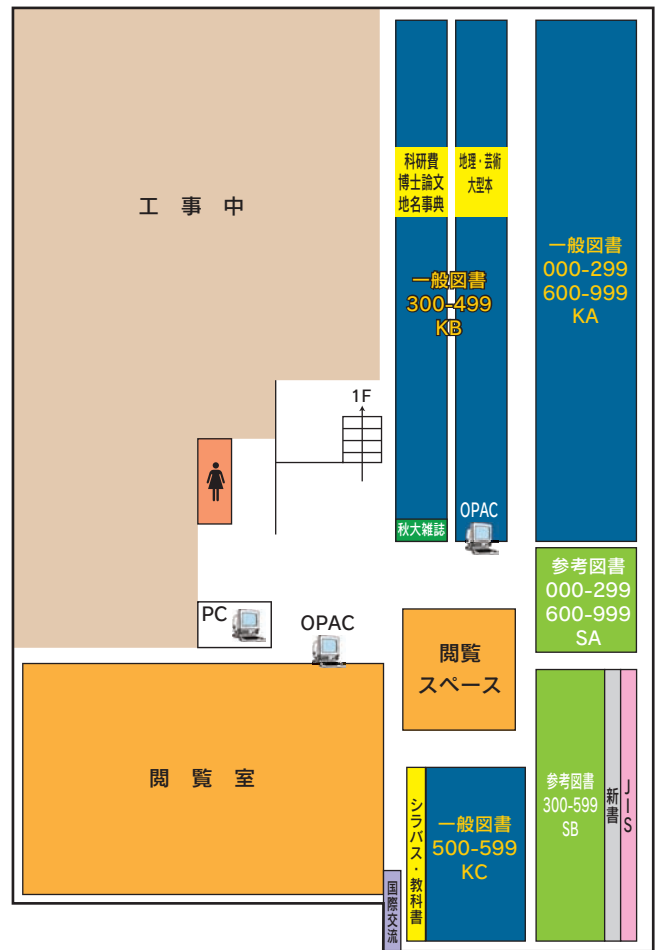
資料配置

- 1階……新着雑誌・新聞・秋田大学コーナー・秋田県コーナー・CD-ROM
2階……開架図書・参考図書・新書・JIS・シラバス・シラバスコーナー
教科書コーナー・国際交流コーナー・地図・大型本・博士論文・科研費報告書

〈案内図 1 F〉



〈案内図 2 F〉



第2期以降の利用について

工事の進捗状況に応じて、11月下旬以降再度、工事区域移動のための臨時閉館や資料配置などサービス内容の変更があります。詳細が決まり次第、ホームページや館内掲示で随時お知らせしますのでご確認ください。

*お詫びとお願い

書庫エリアの工事日程等が変更となったため、当初年明けに利用可能となる予定だった書庫内図書が、3月の完成まで利用できなくなりました。工事中貸出をご利用のみなさまには返却期間を変更させていただきますので、恐れ入りますが12月以降も引き続き管理をお願いいたします。

また、利用をご希望のみなさまにはさらにお待ちいただくこととなり、かさねてお詫び申し上げます。

工事中貸出（図書）の返却期間 平成23年2月21日(月)～2月28日(月)
(平成22年12月16日～12月24日から変更になりました。)

ご利用に際し、なにかお困りのことがありましたらカウンターへご相談ください。

みなさまには工事完了までまだしばらくご不便をおかけしますが、どうぞ今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。

◆図書館ホームページに **本館改修情報** の特設ページがございますのでどうぞご参照ください。

◆医学部分館は通常どおりのサービスを行っております。

著書紹介 (5)

『自立・交流する中山間地域』

—東北農山漁村からの地域デザイン—

矢内 諭 編著

佐藤直由・佐藤利明・石沢真貴 著

(381頁 昭和堂 2008年5月発行)



中山間地域は、農山村の生活文化や地域資源への再認識が高まりつつある今日、地域再生を試みる各分野から高い関心が寄せられる一方で、過疎化や高齢化に加え、少子化や耕作放棄地問題など、まさに地域崩壊の危機に直面する地域でもある。本書は、こうした東北の中山間地域がおかれてきた歴史及び現状分析をふまえ、地域再生に向けて自立と活性化を試みる東北各地の事例を紹介しつつ、地域づくり・まちづくりを検証する一冊である。

中山間地域に関する図書としてその学術的意義が問われるべきは言うまでもないが、しかし本書は、えてして社会科学が陥りがちな現状分析・批判的考察に終始することなく、あえて、困難のなかでも果敢に地域づくりに取り組む各地域の事例

を紹介することによって、これまで省みられることの少なかった中山間地域へのエールを送る役割を果たさんとしている。

その本書のなかで、秋田県湯沢市（旧稲川町）を事例に、伝統的産物である川連漆器の職人たちによる地域ブランドづくりを紹介しているのが「伝統工芸の継承とグローバル化」（第4章Ⅲ）である。大量生産時代にピークを迎える漆器産業は、消費スタイルの変化やグローバル化、職人の高齢化で衰退の一途をたどるが、そうした危機を契機に職人や女性たちの新しいネットワークが形成され始める。伝統の技・文化を継承しつつも新しいネットワークの活動を通して新たな地域づくりが試みられていく、そうした一連のプロセスを描き出した事例となっている。

(文：いしざわ まき 教育文化学部政策科学講座 准教授)

*この本は本館秋田大学コーナーにあります。(601.12 Ⅱ Y54)

『元明天皇・元正天皇』

—まさに今、都邑を建つべし—

渡部 育子 著

(251頁 ミネルヴァ書房 2010年3月発行)



奈良の都を造った母娘女帝

平城京遷都1300年にあたる今年、奈良は多くの観光客で賑わっている。本書は奈良の都を造った元明天皇、天平の繁栄を支えた元正天皇、2人の女帝の生き様とその時代を描いたものである。

律令国家が法制を整え、都城を造営し、発展しようという時期に、夫から妻へ、祖母から孫へ、息子から母へ、母から娘へという皇位継承をめぐるドラマが繰り返されていた。

文武天皇の死後、皇后鸕野が持統天皇として即位

した。彼女は孫・文武天皇に位を譲ったが、707年、文武は25歳の若さで没し、その母・阿閉皇女が元明天皇として即位。元明天皇は710年3月、平城京遷都を敢行し、律令的政治の醸成のためにさまざまな施策を打ち出す。そして715年、文武の遺児・首皇子が元服し皇太子となっていたにもかかわらず、娘・氷高内親王に位を譲り、ここにわが国初の未婚の女帝・元正が誕生した。政府首脳部は皇族や伝統ある氏族と新興貴族・藤原氏で構成さ

れ、権力闘争が渦巻いていた。

元正天皇は他の女帝に比べて個別に取り上げられることは少ない。しかし、母・元明が遷都した平城京の発展は娘・元正の政治手腕に負うところが大きい。彼女は724年、首皇子（聖武天皇）に譲位してからも太上天皇として20年以上もの間、揺れ動く政界から身を引くことはなかった。

2人の女帝の生涯から何が見えてくるのか。“女帝は中継ぎなのか”という疑問を解くことも必要であるが、女性天皇、女性トップ、生涯現役、仕事と子育て、アラフォー、おひとりさま、美肌グッズ（元正天皇お気に入り）等々、現代の

世相に彼女たちを引き寄せてみても面白いのではないかと思う。

著者の住まいは奈良から遠く離れた地にある。天平の国際都市・平城京に国内外から多くの人々が集っていたころ、秋田は北の玄関口として整備され、役人が常駐していた。大陸から民間人が帰化を求めてやって来ることもあった。蝦夷とよばれる人々の居住地・秋田が律令国家行政機構のなかで地域的展開をみせる端緒を開いたのは、実は、元明・元正母娘女帝であった。

元明天皇・元正天皇への興味は尽きない。

（文：わたなべ いくこ 教育文化学部文化環境講座 教授）

*この本は本館秋田大学コーナーにあります。（280.8 || Mi43 || v.82）

本学教職員等著作寄贈図書

本学教職員が著し、寄贈されたものです。ありがとうございます。

（平成21年9月～平成22年8月受入）

本館所蔵分は「秋田大学コーナー」にあります。

寄贈者名（敬称略）	書名	出版社	出版年	請求記号
銭谷秋生 編著	哲学の玉手箱：深く知ることの面白さ	北樹出版	1999	本館 104 Z3
銭谷秋生 訳	カントの生涯と学説	みすず書房	1986	本館 134.2 C25
渡部育子 著	元明天皇・元正天皇：まさに今、都邑を建つべし（ミネルヴァ日本評伝選）	ミネルヴァ書房	2010	本館 280.8 Mi43 v.82
坪井ひろみ 編著	われら地球家族：一度は経験したい国際体験・入門編（遊行社ブックレット：No.2）	遊行社	2009	本館 302 Ts15
坪井ひろみ 編	My Japan and my Akita：perspectives of international students at Akita university	三文舎	2010	本館 302.124 Ts15
林信太郎, 石沢真貴 分担執筆	地方都市における町内会の転態とその実相：2008年度秋田市町内会・自治会調査結果報告書	東北都市社会学研究会	2008	本館 318.8 To25
本橋豊 編	続 ライブ総合自殺対策学講義（秋田医学叢書：No.3）	秋田魁新報社	2010	本館 368.3 Mo83 分館 WM401 R12 2010
秋田大学教育文化学部 附属小学校 著	秋田大学教育文化学部附属小学校授業改革への挑戦 国語編	一莖書房	2010	本館 375.1 A37 v.1
秋田大学教育文化学部 附属小学校 著	秋田大学教育文化学部附属小学校授業改革への挑戦 算数・理科編	一莖書房	2010	本館 375.1 A37 v.2
秋田大学教育文化学部 附属小学校 著	秋田大学教育文化学部附属小学校授業改革への挑戦 社会科編	一莖書房	2010	本館 375.1 A37 v.3
秋田大学教育文化学部 附属小学校 著	秋田大学教育文化学部附属小学校授業改革への挑戦 音楽・図画工作・体育編	一莖書房	2010	本館 375.1 A37 v.4
本橋豊, 大西洋英, 柴田浩行, 山本雄造 編	消化器がん治療最前線：秋田大学医学部の挑戦（秋田医学叢書：No.4）	秋田魁新報社	2010	本館 493.4 Mo83 分館 W1149 Sh96 2010
菅原拓男, 菅原勝康 著	プロセス速度：反応装置設計基礎論	共立出版	2010	本館 571.1 Su28
石沢真貴 共著	自立・交流する中山間地域：東北農山漁村からの地域デザイン	昭和堂	2008	本館 601.12 Y54
三浦亮 著	筆のすざび	[不明]	2009	本館 914.6 Mi67 分館 914.6 Mi67f 2009
高橋康弘 分担執筆	自殺予防の実践	永井書店	2009	本館 368.3 Ta33

※図書館では本学教職員の著作物（単独著書、共著書、編著書、訳書、分担執筆、学位論文）を積極的に収集し、利用に供しています。出版の折には御寄贈くださるようお願いいたします。

秋田市立河辺中学校職場体験学習

2010年7月21日

3年の女子生徒2名が職場体験学習に訪れ、カウンターや図書の排架のほか、ラベル貼りや文献複写など、利用者として普段あまり目にしない様々な図書館業務に挑戦しました。

今回の体験を今後の生活や学習に生かしてがんばってください。



これから書架に並ぶ新しい本にラベルを貼ります



カウンターで図書の返却作業中



排架のため、背ラベルを真剣に見つめます

書評を読んでリクエスト

2010年1月19日～31日

本館1階の玄関ホールにて図書のリクエスト企画「書評を読んでリクエスト」を行いました。このイベントは、新聞に掲載された書評100冊分を館内に掲示し、学生が読んでみたいと思った本に投票してもらう内容で、期間中のリクエスト総数67件、44冊の図書を購入しました。

蔵書に“もっと学生の要望を取り入れよう”との目的で21年度から始めたこの企画は、書評を読んで興味を抱いた1冊が実際に読める良い機会です。22年度は10月に開催する予定ですので楽しみに。

なお、学生希望のリクエストは随時受け付けています。館内のリクエストボックスに投函していただくか、図書館ホームページの資料リクエストフォームをご利用ください。



会場となった本館1階玄関ホール



リクエストを受け購入した図書の一部



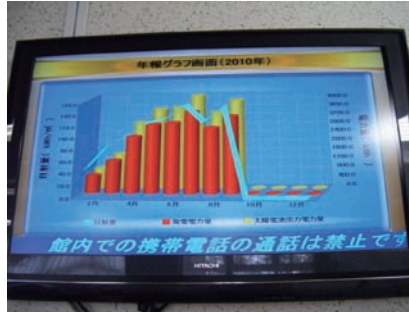
100冊分の書評

太陽光パネル設置

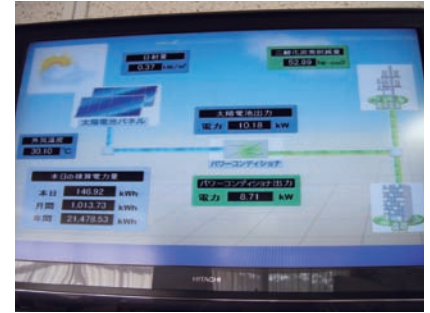
昨年12月、図書館屋上に太陽光パネルが設置されました。発電された電気は館内のエアコン等空調設備やエレベータなどの基幹電力に使われています。日射量、電力量、二酸化炭素削減量などをリアルタイムで表示するモニターがブラウジングコーナーにありますのでご覧ください。すでに導入済みのLED照明付閲覧机に続き、環境に優しい図書館を目指します。



屋上に設置されたパネル



モニター表示



図書修理講習会

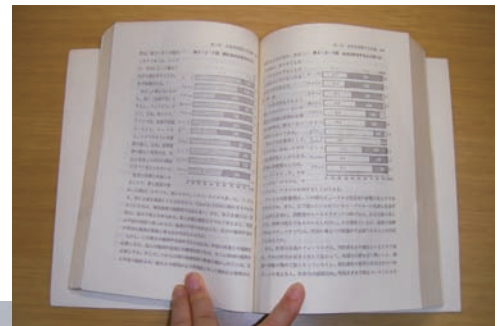
2009年11月19日・20日

秋田地区大学等図書館連絡協議会加盟館職員の図書修理技術向上のため、国立公文書館修復係の三名の方を講師にお迎えして修理講習会を開催しました。秋田大学のほか秋田県立大学、秋田工業高等専門学校から参加がありました。

講習会では長年の使用によって破損・劣化した蔵書であっても、それぞれに適した修理を行うことで再度利用できる状態となり、適切な修理を行うことで長期の保存が可能となることを学びました。教わった技術を今後の修理・保存に役立てたいと思います。



真剣にメモをとる参加者



糸で綴じられ元どおりに



背が二つに割れバラバラになった本が



『ペトロス伯父と 「ゴールドバッハの 一翹』』



アポストロス・ドキアデイス 著
酒井 武志 訳 早川書房 2001

鈴木 良地

「人生の秘訣とは、達成可能な目標を定めることだ。」本書25項、主人公を論ずるその父親の台詞である。

ゴールドバッハの予想とは「4以上の全ての偶数は、二つの素数の和で表すことができる。」という有名な未証明の命題である。名前の由来はクリスティアン・ゴールドバッハがレオンハルト・オイラーへの書簡（1742年）で述べたことによる。

本書ではゴールドバッハ予想の証明に挑み、「…あげくに、みずからの一生をむだにし」たペトロス伯父の一生が数学者を目指す主人公によって語られる。ポアンカレ予想に挑戦し、道半ばで癌死した実在のギリシア人数学者クリストス・パバキリアコプロスがペトロス伯父のモデルである。作者のドキアデイス自身も15歳でコロンビア大学で数学を学んだ後に作家に転向しており、作中語られる主人公の苦悩はかつての作者自身のものなのかもしれない。

私は1994年に大学を卒業後、基礎医学研究の道に進んだ。脊髄損傷が治せないかと思ったのが動機だった。そんなことできるわけがないという人が殆どで、しかし、その中で実際にそれを試みた者はいなかった。そんなわけで、少々意地になって今となっては研究というには程遠いレベルの試行錯誤をしばらくしていた。とりあえず設定した方針からその後を決める結果がでてくることを期待したのだが悲惨なほど結果は出なかった。途方にくれるとはこのことである。

一度壊れた中枢神経が回復しないことは大昔からよく知られていて、エジプトの壁画にも脊髄損傷患者が描かれている。現在につながる基礎がスペイン

のサンティアゴ・ラモン・イ・カハール（1906年にノーベル生理・医学賞）によってなされて以来、破壊された中枢神経の組織学的知見は近年様々な手法が開発されて一見進んだように見えるが、中枢神経損傷が付加逆であることは変わらない。

であるので、実のところ私の当初の思惑が失敗するのはほぼ自明のことだった。

決してあきらめるな、とはよくメディアで流されるメッセージである。結果を出した者は最後まであきらめなかった人々であるし、結果を出さなければ取材の対象にならないから当然の帰結だ。一方作中でしばしば問題にされるように個々人に備わる各々の才能は自身の欲する人生に十分なものである保障はない。人生は有限であるので、数ある選択肢を全て試すわけにもいかない。

立花隆氏の指導で東大の学生が様々な業界の人々にインタビューしたレポートをまとめた「二十歳のころ」という本がある。私は大学院生の時にこれを読んだ。それまでとくに根拠なく成功する人というのは人生のかなり初期の決心を変えずにひたすらその道に精進した人なのだろうと考えていた。しかし、実際には放り込まれてしまった環境でベストを尽くし続けた人であるらしい。それから20年近い年月が経つわけだが、これは真実なのだろうと思う。しかし、努力は結果に結びついて初めて努力とみなされるのである。

私自身の人生はその時々のお会いとそれによってもたらされた「達成可能な目標」を設定することで首の皮一枚でつながってきた。偶然もたらされたこれらの出会いに感謝したい。

(すずき りょうじ 医学部形態解析学講座 准教授)

※ この本は本館開架2Fにあります。(991.9 || D89)

[データベース紹介]

雑誌のインパクトファクターを調査できるデータベース

Journal Citation Reports がWebで利用可能になりました。

[アクセス方法] 大学内のパソコンから、図書館ホームページ→各種データベース→J.Citation Reports(JCR)

The screenshot shows the Akita University Library website. In the left sidebar, the menu item '各種データベース' (Various Databases) is circled in red. An arrow points from this menu item to a search results page where 'J.Citation Reports (JCR)' is also circled in red. Another arrow points from this result to a search filter form. The filter form has two sections: 'Select a JCR edition and year:' with 'JCR Science Edition' and '2009' selected, and 'Select an option:' with 'View a group of journals by Subject Category' selected. Below the filter form is a table of search results.

Abbreviated Journal Title (linked to journal information)	ISSN	2009 Total Cites	Impact Factor
CELL	0092-8674	153972	31.152
LANCET	0140-6736	152843	30.758
NATURE	0028-0836	483039	34.480

(検索結果例)

◆ JCRはこんな時に役立ちます ◆

買うか 止めるか
新規購読や購読中止
する雑誌を選択する。

どこにしようかしら
執筆した論文を
どの雑誌に投稿するか
迷っている。

JCRでは、個々の学術雑誌の重要度・影響力を様々な指標から比較確認出来ます。操作方法は図書館備え付けのリーフレットもしくはこちらをご覧ください。(http://science.thomsonreuters.jp/media/support/jcr/ImpactFactor_QRC.pdf)

◆ こんな使い方は間違いです! ◆

× 個々の論文や研究者の評価に用いる ×

JCRでは雑誌単位の情報しか確認できません。インパクト・ファクターが高い雑誌に掲載された論文は価値が高い、と評価することは必ずしも不合理とは言えませんが、国際数学連合等による報告書『Citation Statistics』では、「論文を比較するに際して、各論文の被引用回数ではなく、論文の掲載された学術誌のインパクト・ファクターを代わりに使用する場合がしばしばある。インパクト・ファクターが大きいほど、被引用回数が多いであろうと考えるのであろうが、多くの場合間違いである」と述べられています。

※ 参考文献 1.佐藤翔「学術情報をめぐる新たな評価指標」『薬学図書館』54(2),121-132,2009 2.『Citation Statistics』オンライン。(入手先: http://mathsoc.jp/IMU/)

JCR(ジェイシーアール):学術雑誌の重要度を評価・比較するためのデータベース。本学では自然科学分野の「Impact Factor」などが確認可能。2008年版から「5Year Impact Factor」「Eigenfactor」を提供開始。

Impact Factor(インパクトファクター): [ある雑誌の2007・2008年に掲載された総論文数÷その雑誌の掲載論文が2009年に引用された数] の式で出される数値(2009年版の場合)。引用された数が増えるほど数値も高くなり、数値が高いほど重要な雑誌とみることが出来る。2年分の論文しか計算に入れないため、引用のピークまで時間がかかる雑誌は正当に評価されないという批判がある。この批判に応えるため「5Year Impact Factor」の提供を開始した。

Eigenfactor(アイゲンファクター):「質の高い雑誌からの1件の引用は重要で無い雑誌からの多数の引用より価値がある」という考えに基づいて引用に重み付けを行い雑誌の重要度を計算した数値。Review誌や論文数の少ない小規模の雑誌が高く出やすいというImpact Factorの欠点が解消されていると言われる。算出方法は非常に複雑なため興味のある方はこちらを参照してください。

《Eigen Factorの数学的基礎》中西印刷株式会社公式サイト (http://www.nacos.com/nakanishi/104_aboutei)

1. 後期情報リテラシー授業を開催します

授業名：情報と知識・技術B

期 日：10月5日～11月16日（火曜日7・8時限）

教 室：総合情報処理センター第1 端末室（定員50名）

内 容：ネットワーク時代における的確な情報収集法と、レポート・論文作成法を学びます。図書館やホームページからのデータベース利用法などすぐに役立つ内容を盛り込み、充実のレポート作成を応援します。



2. 電子ブックNetLibrary（ネットライブラリ）が入りました

NetLibraryはパソコンのWebブラウザで閲覧可能な電子ブックのコレクションで、当館では現在26タイトルの和書を契約しています。

タイトルを一部紹介しますと、授業の参考図書として指定されている『数学30講シリーズ』や、『朝倉心理学講座』などがあります。その他にも、3,500タイトルあまりの洋書の無料電子ブックも利用でき、絶版や品切になったものが入手できる可能性もあります。どうぞご利用ください。利用料金は、図書館で契約しているため無料です。

利用の詳細は<http://www.lib.akita-u.ac.jp/eb/netlibrary/> をご覧ください。

なお、今後も契約タイトルを増やしていく予定です。

3. リポジトリ登録にご協力をお願いします

秋田大学学術情報リポジトリAIR（エア）では、本学関係教員等の研究・教育業績（論文等）の登録を行っております。登録された文献はGoogle ScholarやCiNiiなど主要データベースで検索でき、本文も読めることで学術水準向上に寄与、社会に貢献します。

またオープンアクセスによって世界中の研究者に読まれることで、論文の引用件数が増えるチャンスでもあります。紀要以外の学術雑誌掲載論文や学会発表資料など様々な文献が対象となりますので、まずは担当までメールをお寄せください。

(E-mail : air@lib.akita-u.ac.jp)

編集後記

「観測史上初」のオンパレードとなったこの夏の猛暑の中、本来なら図書館で快適に勉強してもらえないはずでしたが、本館では工事に伴う臨時閉館などでそれも叶わず申し訳ございませんでした。

心身ともに疲労困憊しましたが、ようやく涼しい秋風が吹き始めました。もう1度ネジを巻き直し、みなさんに喜ばれる図書館となるよう工事完成まで走り続けたいと思います。

図書館だより 第68号

2010年10月1日発行

編 集 秋田大学附属図書館出版物編集委員会

発行者 秋田大学附属図書館

〒010-8502 秋田市手形学園町1-1

TEL 本館018-889-2279 分館018-884-6052

FAX 本館018-832-4917 分館018-884-6252

E-mail : 本館 riyos@lib.akita-u.ac.jp

分館 ibun@lib.akita-u.ac.jp